

### 3.3. 令和7年度 沖縄てんかん拠点病院事業報告書 (2025年4月～2026年3月)

報告者：沖縄赤十字病院脳神経外科部長 沖縄てんかん拠点病院責任者 廣中浩平  
文責：沖縄てんかん拠点病院てんかんコーディネーター 饒波正博

#### 活動報告

平成7年4月よりてんかん専門医である神経内科医が加わり、運営スタッフの陣容は、てんかん専門医3名（脳神経外科1名、小児科医1名、神経内科1名）、てんかんコーディネーター2名（理学療法士1名、医師1名；社会医療法人へいあん平安病院精神科所属）となり、これに各活動に際し病院総務課課長をはじめとする病院事務、地域連携室が適時サポートに入る体制になった。

今年度、カンナビノイド臨床研究；I-CANN Japan trialの周知を積極的に行った。年2回のてんかん県民講話ではこの話題を取り上げた。特にCBDオイルの使用を自己判断で開始していた患者を洗い出し情報を提供した。それだけでなく通院中の方で、同治療に適応があると考えられる患者へも、チラシを渡し研究への参加を勧めた。研究へはインターネットからの参加になるが、入力が難しいと訴える方には、てんかんコーディネーターがマンツーマンで入力支援を行っている。また医療従事者への周知として、平成7年度第1回てんかん協議会で、一般社団法人Green Zone Japanの代表理事であり、I-CANN Japan trialにも研究者として参加している正高佑志先生を招聘して、カンナビノイド臨床研究の概要を講話として提供した。参加者からは、初めて聞くという感想があり、医療従事者への周知は今後の課題になる。

県内のてんかん診療状況は、令和6年4月より琉球大学医学部脳神経外科主任教授に、てんかん専門医が就任し、てんかん手術を提供している。また、てんかん認定医研修施設は3か所あり、当院と琉球大学医学部付属病院の他に民間精神科病院がある。令和6年度から、そちらでビデオ脳波検査が行えるようになった。これまで当院は、てんかん手術、ビデオ脳波を提供できる唯一の医療機関であったが、他院でもこれらが行えるようになり、連携することでいっそう充実した地域のてんかん診療を提供できると考えている。

#### ・てんかん協議会（ZOOM開催）

- ・第1回：令和7年9月26日（18：00～）
- ・第2回：令和8年3月予定

#### 1) てんかん診療

ほぼ例年通りの診療内容になった。特筆すべきは、ビデオ脳波件数が大幅に増えたことである。

2025年（令和7年） 沖縄てんかん拠点病院診療実績（1月～12月）	
てんかん外来	
新紹介患者	50(123)
入院	50 (48)
ビデオ脳波	27 (19)
てんかんの手術	11 (14)
選択的海馬扁桃切除術	0 (1)
側頭葉切除術	0 (0)
脳梁離断術	4 (5)
迷走神経刺激装置設置術	1 (2)
迷走神経刺激装置電池交換	6 (6)
頭蓋内電極設置術	0 (0)
頭蓋内電極除去術	0 (0)

カッコ内数字は2024年実績

#### 2) てんかん患者生活支援

ピアサポートの視点から、患者会を立ち上げるためにニーズ調査を行っている。

### 3) 地域連携・啓発活動

#### ・てんかん県民講話

第1回：令和7年07月21日

式次第

1) 10時～12時：個別相談会

2) 講演会 13時～15時

- ・「私のてんかん闘病記」：沖縄赤十字病院てんかんコーディネーター 照屋江里
- ・「てんかんに対する公的支援」：てんかんコーディネーター 饒波正博
- ・石垣島を離れなくても参加できる難治性てんかん臨床研究

聖マリアンナ医科大学病院 脳神経外科教授 太組一郎



## 令和7年度 てんかん県民講話

日時：令和7年7月21日（月）

場所：石垣市健康福祉センター 2階視聴覚室

時間：10:00～12:00 個別相談会

(先着順・人数制限あり/お薬手帳 持参)

13:00～15:00 一般講演



#### 講演内容

##### 1.私のてんかん闘病記

沖縄赤十字病院 てんかんコーディネーター 照屋江里

##### 2.てんかんに対する公的支援

てんかんコーディネーター 医師 饒波正博

##### 3.石垣島を離れなくても参加できる難治性てんかん臨床研究

聖マリアンナ医科大学病院 脳神経外科教授 太組一郎

(各20分)

主催：沖縄県てんかん拠点病院（沖縄赤十字病院）

共催：厚生労働科学特別事業

「カンナビノイド医薬品とカンナビノイド製品の薬事監視」（24CA2012）

第2回：令和7年2月23日；

式次第

1) 13時～：講演

- ・てんかんの新しい治療：聖マリアンナ医科大学病院 脳神経外科教授 太組一郎
- ・「てんかんに対する公的支援」：てんかんコーディネーター 饒波正博
- ・てんかんよろず相談会：日本てんかん協会沖縄支部

## 令和7年度 第2回 てんかん県民講話

日時：令和8年2月23日（月） 13：00～15：00

場所：名護市中央公民館小ホール

13：00～13：30 講演：てんかんの新しい治療

太組 一郎（聖マリアンナ医科大学脳神経外科教授）

13：30～14：00 講演：てんかんに対する公的支援

饒波 正博（医師/てんかんコーディネーター）

14：00～15：00 てんかんよろず相談

主催：沖縄てんかん拠点病院

共催：厚生労働科学特別研究班 24CA2012

日本てんかん協会沖縄支部

参加費 無料



・第29回沖縄てんかん研究会：令和7年6月27日  
運営に参加している

**第30回沖縄てんかん研究会  
(現地開催+WEB配信)**

参加費：1000円（半年会費500円含む、現地会場参加の先生）

日時：2025年6月27日（金） 19:00～20:45

会場：現地会場：ロフジールホテル那覇 3階 守衛の間  
沖縄県那覇市西3-2-1  
WEB配信：Z o o m i cによる配信  
※接続方法は裏面をご参照ください。

【情報提供】19:00～19:05 抗てんかん剤 フィコンバ点滴静注用2mg エーザイ株式会社  
【開会の辞】19:05～19:10 琉球大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座 教授 浜崎 禎 先生

【一般演題】19:10～19:30  
座長：琉球大学病院 精神科神経科 助教 高原 駿平 先生  
「救急搬送を繰り返したPNESの1例」  
演者：医療法人 天仁会 天久台病院 副院長 前川 敏彦 先生

【ミニトーク】19:30～19:50  
「私のPNES対応」  
演者：社会医療法人 へいあん 平安病院 饒波 正博 先生

【特別講演】19:50～20:40  
座長 独立行政法人国立病院機構 沖縄病院脳・神経・筋疾患研究センター長  
リハビリテーション科医長 諏訪園 秀吾 先生  
「脳を知り、脳を守るーてんかん生理医の立場から」  
演者 京都大学大学院医学研究科 臨床神経学 教授 松本 理器 先生  
【閉会の辞】20:40～20:45 医療法人 天仁会 天久台病院 副院長 前川 敏彦 先生

\* 現地でご参加いただく先生方にお弁当をご用意しております。なお、国立等の施設のご所属の先生方におかれましては、事前にご所属施設の規程等をご確認の上ご対応いただけますようお願いいたします。

\* 本会は小児神経専門医研修単位の認定を受けております。